

2017 年度

一般入試 B 日程

刑事法問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙は黒インクのボールペンまたは万年筆で記入してください。黒インクのボールペンまたは万年筆を忘れた者は監督に申し出てください。(黒鉛筆・シャープペンシルなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は4ページまでとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、あなたの受験番号の番号であるかどうかを確認してください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

【 刑事訴訟法 】

ショルダーバッグ内に違法薬物を隠し持って歩いているXに、警察官甲が、パトロール中に行き会い、Xの挙動が不審であることに気付いた場合、甲がXにとることができる措置について、根拠をあげながら論ぜよ。解答は、茶色の解答用紙にするせ。

【 刑 法 】

次の[事例]を読み、Xの罪責について論ぜよ。解答は、青色の解答用紙（その1、その2）にしるせ。

[事例]

Aは、11月のある日、池袋にある大型書店Bに向かったところ、路上で広告入りのポケットティッシュ（1袋に10枚のティッシュペーパーが入ったもの。以下、本件ティッシュと略）を配布しているCから、本件ティッシュ1袋を手渡されたため、それを受け取り、袋からティッシュペーパーを1枚抜き出して涙をかみ、残りの本件ティッシュを、直前に購入したテイクアウトのサンドイッチが入っている手提げの紙袋の中に入れた。Aは歩きながらサンドイッチを食べようと考えたが、飲み物がないためコンビニでコーヒーを購入しようとしているうちに、目的地であるB店に到着した。

B店は、地下1階から地上7階までの全フロアに様々なジャンルの書籍を揃えているが、Aは、5階までエスカレーターで上がり、仕事に関係する本を何冊か見つけたので、近くの椅子に座り、紙袋を椅子の横に置いて、本に目を通し始めた。何冊か読んでいるうちに、ある1冊の書籍が仕事に極めて有用であると思われたため、Aは当該書籍を購入することを決めた。Aは、紙袋を置いたまま椅子から立ち上がり、残りの本を書棚に戻し、紙袋の存在について完全に失念したままエスカレーターの方に向かっていった。

Xは、不況を理由に勤務していた会社からリストラされ、次の就職先を探していたが、中々見つからず、空腹も手伝って疲労の極に達したため、本などを購入するつもりもなく、ただ単に休みを取るためだけにB店に立ち入って、エスカレーターで上がっていくうちに、5階には客が少ないことに気付き、5階の椅子に座って休んでいた。そこに、Aが紙袋を置き忘れたまま椅子から立ち上がり、書棚に何冊か本を戻し、手にした本を読みつつエスカレーターの方に歩いていくのを目にしたため、何か食べ物でも入っていれば空腹をしのごとく考えて、Aがエスカレーターに乗ったのを見つつ、紙袋の方に近づいていき、あたかも自分が置き忘れたかのようなふりをして紙袋を持ち上げ、そのまま中身を見ずに自分のカバンの中に押し込み、エレベーターに乗り、B店を出ようとした。

店内警備員であるDは、Xが何かをカバンの中に急いで押し込んだのを見て、Xが書籍を万引きしたものと勘違いしたため、急いでエスカレーターで1階まで降りて、XがB店を出る直前にXを呼び止め、「すみませんが、ちょっとお話をお聞かせいただけますか」と声をかけた。これを聞いたXは、自分が紙袋を持って行くのを見られたと勘違いして、D

から逃れるために、持っていたカバンでDの顔面を強打し、Dが倒れた隙に、急いでB店から走り去った。Dは、顔面に全治1週間の怪我を負った。

なお、Aは、趣味の本を購入するために地下1階に降りて、30分ほど本を選び、その後、1階の会計で支払いを済ませてからB店を出て、紙袋の存在を失念したまま帰宅した。